

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

石川県 七尾市

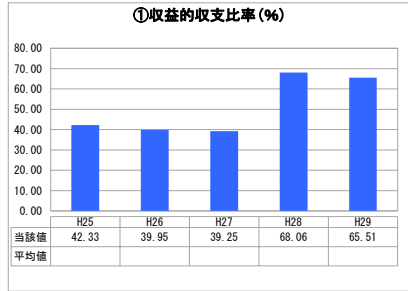
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
34.10	該当数値なし	3.99	88.66	3,348

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
53,927	318.29	169.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,133	1.66	1,284.94

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



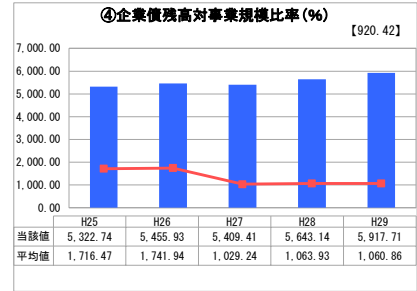
「単年度の収支」



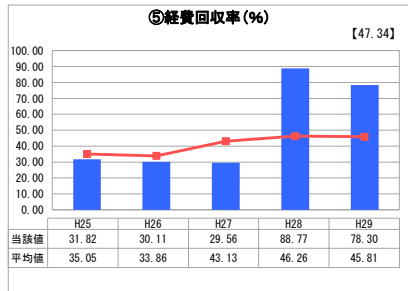
「累積欠損」



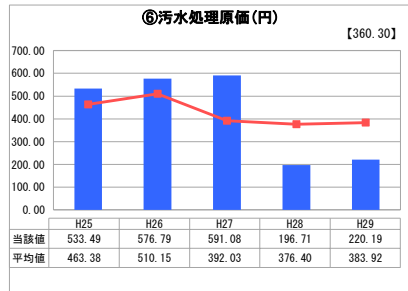
「支払能力」



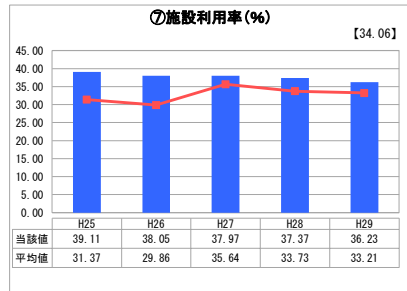
「債務残高」



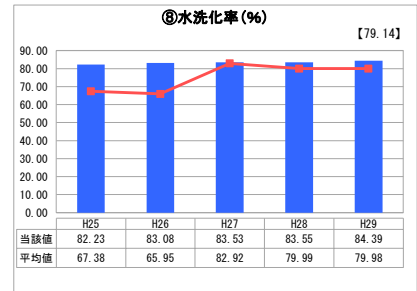
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

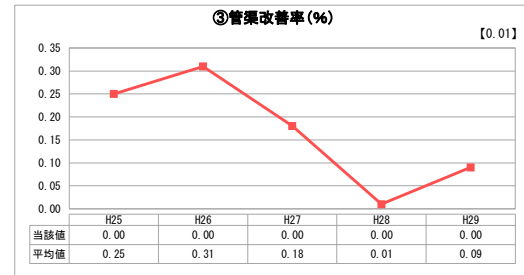
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度において分流式下水道等に要する経費の見直しを行ったことから収益的収入が増加し、①収益的収支比率の数値が改善されている。

④企業債残高対事業規模比率は、使用料収入に対し整備事業に要した地方債の残高が大きいため類似団体と比較すると高い状況にあり、使用料収入の減少から今後増加していくと思われる。

⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、分流式下水道等に要する経費の見直し以降、①と同様に数値に改善が見られる。

⑦施設利用率や⑧水洗化率は、類似団体と比べ同程度であるが、人口減少の著しい事業地域が多いことから、今後、有収水量の減少による影響が懸念される。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始から10年あまりの処理区が多く、管渠については、更新工事が必要な老朽化は見られない。一方、マンホールポンプや処理場の耐用年数の短い機械設備等において老朽化による機能低下がみられ、修繕や更新が必要になっている。

今後は、老朽化により腐食が発生しやすいヒューム管等の管渠や処理場の機械設備等の更新が必要となるため、適切な更新計画により計画的な更新を行う必要がある。

### 全体総括

水洗化率の向上等により料金収入の確保に努める。また、農業集落排水等の他の事業との一体的な維持管理により費用の縮減に努め、老朽化による管渠や処理場の更新についても計画的に実施することにより費用の平準化を図り、経営の健全化に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。